

## 令和2年度第1回 栃木市入札適正化委員会 議事概要

1. 日 時 令和2年8月12日（水）午後1時34分から午後2時52分
2. 会 場 栃木市役所 3階 302会議室
3. 出席者 委 員 小林委員長、飯島副委員長、諏訪委員、児玉委員  
事務局 総務部長  
契約検査課長  
契約検査課副主幹兼契約係長  
契約検査課副主幹兼検査係長  
契約検査課契約係職員2名
4. 議 題 (1) 委員長及び副委員長の選任について  
(2) 入札及び契約手続きの運用状況等についての報告  
(3) 抽出事案についての審議  
(4) その他
5. 会議概要

| 会 議 概 要          |   |
|------------------|---|
| (事務局)            | 開会を宣言する。  |
| 【議題（1）】          | ～委員長及び副委員長の選任について～<br>互選により、委員長に小林氏、副委員長に飯島氏を選出。  |
| 【議題（2）】<br>(委員長) | 事務局から「入札及び契約手続きの運用状況等についての報告」をお願いする。  |
| (事務局)            | 令和2年1月1日から6月30日間の入札及び契約手続きの運用状況等について報告する。<br>契約件数は117件、契約金額は30億8,872万1,900円である。内訳として、条件付き一般競争入札が46件、契約金額が25億5,536万6,000円、指名競争入札が71件、契約金額が5億3,335万5,900円である。全体の平均落札率は、95.50%、条件付き一般競争入札は95.50%、指名競争入札では、95.50%であった。<br>令和2年1月1日から6月30日の期間の指名停止は、2件、2者であった。1件目は、栃木簡易裁判所から労働安全衛生法違反で罰金20万円の略式命令を受けたことによるものである。2件目は、落札者に決定したにもかかわらず、入札金額の誤り及び人員が確保できないことを理由に契約締結を辞退したことによるものである。<br>建設工事の談合に関する情報は寄せられていない。 |

<質疑応答>

(委員長)

1年前、8月23日に入札適正化委員会を行った。報告を受けた時、総契約件数が74件で19億7,000万円であった。今回は総契約件数が117件、約5割増で、金額が30億8,872万1,900円。非常に大きく膨れ上がっている。過去、これだけ急に増えたことは私の経験上無いが、台風第19号の復旧対策で予算が膨らんだのか。

(事務局)

件数も金額も増えている原因として、昨年の台風第19号被害に伴って発生した復旧工事が多かった。

(委員長)

資料でも、前半の方は台風第19号災害復旧工事が羅列している。台風第19号は全国的にも大変な災害で、新聞等でも出たが、箱根登山鉄道も復旧工事をしないと観光地も大変だと、夜中も地元の協力を得て突貫工事をした。今度はコロナでお客さんが来ないということで、踏んだり蹴ったりだ。栃木市では急流河川は無いということで恵まれているが、この辺は水がはけない。今後ともよろしくお願ひしたい。

<審議結果>

～了承～

【議題(3)】

(委員長)

抽出担当委員から抽出理由の説明をお願いします。

(委員)

今回抽出した4件について、抽出理由を説明する。一般競争入札2件について、1つ目は「菌部浄水場災害復旧工事」。これは金額が大きいということで抽出した。

2つ目が「栃木西中学校校舎外壁等改修工事(第1期)」。これは応札可能業者24者だが、入札参加業者数が1者であるということで抽出した。

次に指名競争入札だが、従来から土木一式、建築一式については抽出事案として多く抽出されている傾向があった為、今回は土木あるいは建築一式等を外して「市道11063号線 舗装補修工事」と、「市道1052号線外 配水管布設替工事」、この2つの工事を抽出した。

(委員長)

審議については1件ずつ進める。抽出事案①について事務局の説明をお願いします。

(事務局)

抽出事案①菌部浄水場災害復旧工事について資料に基づき説明。

～入札方法、工事名、工事箇所、工事概要、入札参加資格及び設定の理由・経緯(工種、格付、建設業の許可、地域要件、配置技術者、応札可能業者)、入札結果(入札参加業者数、落札業者、予定価格、低入札調査基準価格、落札金額、落札率)～

<質疑応答>

(委員)

この場所は錦着山の南側で、昨年の永野川の決壊の関係で水没、影響を受けた施設の復旧工事だが、今回、設備を新しくす

るにあたり、水の対策、水を遮断するようなものを考慮したのか。

(事務局)

今回、台風第19号によって水没してしまったため、それ以上のことが起きた時に対応できるように、送水ポンプの設備について、4台ある陸上型ポンプの内、2台を水中型に更新する。4台の内2台しか水中型にしないことについては、浄水場の躯体構造から2台までしか更新することができないということである。受変電設備については、台風第19号によって浸水したということで、70cmの架台を設置して基盤を更新するということだ。低圧電気設備についても70cmの架台を設置して更新するということだ。計装設備については配水流量計を水中型に更新するということだ。昨年のような水害が発生しても被害が無いようなものを造るということである。

(委員)

ただ今の説明で70cm設置するということだが、去年の台風第19号での浸水はどの位まで浸水したのか。

(事務局)

40cmほど浸水したと聞いている。

(委員長)

施設全域にわたって浸水し、送水ポンプ、受変電設備、電気計装設備、非常用発電設備等の設備が麻痺してしまったというのは大変なことである。

<審議結果>

～抽出事案①了承～

(委員長)

抽出事案②について説明をお願いします。

(事務局)

抽出事案②栃木西中学校校舎外壁等改修工事（第1期）について資料に基づき説明。

～入札方法、工事名、工事箇所、工事概要、入札参加資格及び設定の理由・経緯（工種、格付、建設業の許可、地域要件、配置技術者、応札可能業者）、入札結果（入札参加業者数、落札業者、予定価格、低入札調査基準価格、落札金額、落札率）～

応札可能業者数24者に対して、入札参加業者が1者になったことについて、当該工事は校舎外壁等工事として防水工事、外壁改修工事、塗装改修工事が主であり、その他にも電気設備工事や機械設備工事がある。その為、工種を「建築一式」として発注することも検討したが、「塗装」として発注する案件が少ない為、工種を「塗装」に登録している業者の入札機会を確保するという点から、工種を「塗装」に決定した。しかしながら、施工箇所が学校で施工時期に制約があり、電気設備や機械設備について、下請業者に出さざるを得ない部分があり、施工時期や金額の点で下請業者と折り合いがつかず、多くの業者は応札できなく、結果的に1者になったと思われる。

<質疑応答>

(副委員長)

抽出担当委員が選定の理由に挙げていた、応札可能業者が24者ありながら入札参加業者数が1者になったのは、先ほど

の説明では、工種を「塗装」としたことで、その辺の影響があったように聞こえたのだが、もう一度説明をお願いします。

(事務局) 今回の工事については、校舎外壁工事等改修ということだが、防水工事、外壁改修工事、塗装改修工事、電気設備、機械設備工事等、色々な工事が混ざっているということで入札参加資格の工種を「建築一般」とすることも考えたが、「塗装」の工種という案件が非常に少ないため、「建築一式」ではなく、主たる工種である「塗装」ということで今回は入札を執行したところだ。塗装の業者が電気設備工事、機械設備工事を自分のところで施工するのは難しく、下請けに出さなければならないということで、入札金額を積算できなかったことから応札する業者が結果的に1者になってしまったのではないかと推察する。

(委員長) 「塗装」にしたことによって、参加業者がかなり減るという予測はできたのか。

(事務局) 少なくなると予想していたが、1者になるとは思わなかった。

(副委員長) 建築一式として発注した場合は、塗装業者が下請になるということか。

(事務局) 請け負った建築一式の業者で塗装もできる業者もあるので、必ずしも下請に出すということではないが、できなければ塗装の部分は下請に出すということになる。

<審議結果> ～抽出事案②了承～

(委員長) 抽出事案③について説明をお願いします。

(事務局) 抽出事案③市道11063号線 舗装補修工事について資料に基づき説明。

～入札方法、工事名、工事箇所、工事概要、指名業者選定の理由・経緯（工種、格付、建設業の許可）、指名業者数、入札結果（入札参加業者数、落札業者、予定価格、最低制限価格、落札金額、落札率）～

<質疑応答>

(委員) 表層（エコスラグ入り再生密粒度As）1,541㎡と、その下の587㎡とで分けて書いた理由は何か。

(事務局) 舗装する機械が違っている。上の1,541㎡については広いところを舗装したものである。下の587㎡については、狭いところを人力舗装したものである。

(事務局) 幅員全体では6.87～8.53mだが、側溝が両端に付いていなくて、側溝の外側に舗装する部分があり、そこには機械が入れない。

|                |   |
|----------------|---|
| (委員長)          | 舗装の幅員が違うため施工方法も違う。従って単価も違う、そういうことか。   |
| (事務局)          | そのとおりである。   |
| <審議結果>         | ～抽出事案③了承～   |
| (委員長)          | 抽出事案④について説明をお願いします。   |
| (事務局)          | 抽出事案④市道1052号線外 配水管布設替工事について資料に基づき説明。<br>～入札方法、工事名、工事箇所、工事概要、指名業者選定の理由・経緯（工種、格付、建設業の許可）、指名業者数、入札結果（入札参加業者数、落札業者、予定価格、最低制限価格、落札金額、落札率）～   |
| <質疑応答>         | ～なし～  |
| <審議結果>         | ～抽出事案④了承～   |
| <b>【議題（４）】</b> |   |
| (委員長)          | 議題（４）その他について。   |
| (委員)           | 議題（２）資料１について質問し忘れてしまった。個別の事案になるが、星野遺跡記念館建物改修機械設備工事だが、備考欄を見ると、辞退者が３者で失格１者、元々指名が５者で１者しか応札していないということになる。実際、落札率は、ほぼ１００％ということだが、なぜ辞退が多かったのか。   |
| (事務局)          | この工事は、空調設備、照明設備、非常警報設備の工事が含まれており、工種でいうと「管」と「電気」が該当するが、「管」の方の割合が多いということで、入札参加資格の工種を「管」としている。辞退した３者は「電気」での入札参加資格の認定がされていないので、照明設備、非常警報設備の工事に関しては下請に出さざるを得ないため辞退したのではないかと推察している。応札した１者は「管」と「電気」の両方の工種について認定された業者が落札している。 |
| (事務局)          | 開札を行ったのが１月２７日。その時点で業者が災害対応しており、他の案件でも入札書不着等多少見受けられた時期ということもある。  |
| (委員長)          | ４つの事案については委員会です了承ということで良いのだが、災害復旧工事について、昨年８月の入札適正化委員会で議案のあった契約件数と契約金額、１９億７，０９６万５，２４０円、今回が３０億８，８７２万１，９００円。これだけ増えているが、市民から納められた税金はそんなに増えるわけないので、これだけの金額の調整をしているのか、他の予算を調整したり、新しくどこからか財源を持ってきているのか。                      |

(事務局) 災害については市の単独事業費ではなく、国からの補助金がかかり入っている。件数が増えた要因の一つだと思うが、中学校のトイレ改修工事の件数が多い。これについては、国の補助が付き、令和3年度までに終わらせないと、国の補助金が貰えないということで、本年度にこれだけ集中して発注している。一概に市の持ち出しが増えているというわけではない。

(委員長) 市債を発行するという事はなかったのか。

(事務局) 財源については、国の補助金、あとは基金の取り崩し、財政調整基金、一部市債を充てるということもある。

<審議結果> ~了承~

(事務局) 閉会を宣言する。

~終了~